<table>
<tr><td colspan="3">第 12 期 第 1 回 京田辺市ごみ減量化推進審議会議事録（要旨）</td></tr>
<tr><td>日 時</td><td colspan="2">令和 4 年 7 月 20 日（水）　午前 10 時 00 分～午前 11 時 20 分</td></tr>
<tr><td>場 所</td><td colspan="2">京田辺市役所５階　議会全員協議会室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席者</td><td>委　員</td><td>1 号委員：河田　美穂 委員、河本　隆志 委員
2 号委員：浅利　美鈴 委員、米田　泰子 委員
3 号委員：寺西　章郎 委員、鈴木　俊寛 委員（欠席）
梶浦　明子 委員（欠席）
4 号委員：太田　邦彦 委員、土合　善明 委員
藤森　真希子 委員
5 号委員：有地　淑羽 委員、伊井　賢二 委員
大野　祐子 委員、衣川　伸子 委員
小宮山　祐生 委員、寺村　綾乃 委員</td></tr>
<tr><td>事務局</td><td>京田辺市長　上村　崇
経済環境部　部長　前川　宗範
副部長　藤井　勝久
清掃衛生課　課長　岩本　康裕、主査　志場　吉洋
甘南備園事務所長　飯島　信一</td></tr>
<tr><td>案件名</td><td colspan="2">〇報告事項
１　京田辺市の一般廃棄物の処理について
２　京田辺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（Ｈ２８．２策定）の進捗状況について
〇今後の取り組みについて
１　京田辺市一般廃棄物処理基本計画（Ｒ５）策定について
〇その他</td></tr>
<tr><td>資 料</td><td colspan="2">資料－１　京田辺市の一般廃棄物の処理について
資料－２　京田辺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（Ｈ２８．２策定）の進捗状況について
資料－３　京田辺市一般廃棄物処理基本計画（Ｒ５）策定について
資料－４　京田辺市一般廃棄物処理基本計画（Ｒ５）策定スケジュール概要
資料５－１　京田辺市廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例
資料５－２　京田辺市廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例施行規則
資料５－３　第１２期京田辺市ごみ減量化推進審議会委員名簿</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">・報告事項及び今後の取り組みについて、事務局より説明を行い、ご了承いただいた。</td></tr>
</table>

１　開会

２　市長挨拶

３　委員及び出席者の紹介

４　会長及び副会長の選出

５　会長あいさつ

６　報告事項

（１）京田辺市の一般廃棄物の処理について

（２）京田辺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（Ｈ２８．２策定）の進捗状況について

会　長：リサイクル率はどこを見たらわかるのか。

事務局：資料の中にはないが、令和３年度は、１６．８％程度となっている。

会　長：地域の集団回収の量は、減少している。古紙や段ボールとは増加していると思うが、全体として、回収量は減少している。世帯や人口は増えているが、例えば、マンションの排出がどうなのかなど分析はしているのか。

事務局：令和３年度の集団回収の申請団体は昨年度より１つ減り、８１団体となっている。新聞紙などは、読まない方が増えてきたと思われるので、減少している要因だと考える。

会　長：全国的にもコロナ禍では、古着などの繊維類を業者が回収しなくなっていたことも影響があると思う。今後、「地域の力」、「コミュニティー力」が改めて見直されると思うので、こういう品目も注目しておいた方がいいので、もう少し分析を深めていただければありがたい。

委　員：１人１日あたりのごみの排出量は。

事務局：令和３年度で、約７２９．０グラムになっている。

委　員：これは、家庭系ごみだけか、事業系ごみも含めての数字か。

事務局：含めての数字である。

委　員：資料の中で、「市内小学校の見学や出前講座を実施」と書かれているが、例えば、紙を挟むバインダーなどは１年生から６年生まで使う気持ちがあれば、使えるはずである。また、市の方から学校に環境問題を子どもたちに教える、または、「無駄遣いしないようにしましょう」などの提案が出来ればいい。学校に対して、何か目に見えることが出来ないかと思うが。

事務局：コロナ禍で、ここ２年は実施が出来ていないが、甘南備園では、小学４年生を対象にした「京田辺エコパークかんなび」主催の「もったいない子どもポスター展」をはじめとした環境学習においても、学んでいただいている。また、環境基本計画の中でも、「学校において環境学習の実施」と、明記しているので、今後、ごみの学習も含めて学習していただけるよう、関係部局とも、何が実施できるかも含めて、協議していきたい。

会　長：私も、色々な学校で、ＰＴＡの方々、地域の方々と一緒に、学校でどんなごみの減量が出来るのか、ご家庭でどんな減量が出来るのか、勉強したり、話合ったりしている。すぐには、無理かもしれないが、計画策定には、２年間あるので、一歩進めるようにお願いしたい。

委　員：樹木チップを配布していただいているが、年に１回、確か、２月頃の配布だと思うが、有料にするとか、回数を増やすなどしてはどうか。

事務局：有料ではなく無料で配布したいと考えている。現在、京田辺市緑化協会と共催での開催だが、運用面については、緑化協会とも協議したい。

委　員：ごみ１トン当たりの処理原価を調べて欲しいと思うが。

事務局：本日は、お伝え出来ないが、次回の審議会で、お伝えしたいと考えている。

○今後の取り組みについて

１　京田辺市一般廃棄物処理基本計画（Ｒ５）策定について

委　員：「製品プラスチック」を、アンケートとして必要な項目なのかなと思う。また、「雑紙」の回収を含めた、「紙ごみ」の回収・収集について、アンケートなどで聞いていただけたらと思う。

会　長：災害廃棄物は、忘れない意味も含めてテーマとして入れておいていただきたい。特

に広域処理が始まってくると、災害時にどういう連携をしていくかなど視野に入ってくるのかなと思う。また、空き家対策の項目も可能であれば、取りあげていただきたい。さらには、成果品として、計画書や概要版を印刷されると思うが、インターネットや市民新聞などを活用し、市民の皆さんに広く知れ渡るよう、発信の仕方も、ぜひ工夫していただきたい。

委　員：市民アンケートの項目の中で、「ごみ処理費用の負担」という文言があるが、これは具体的には、どんな内容、また表現で考えているのか。

事務局：現在、検討中である。アンケートの内容については、次回の審議会で、ご意見を頂く予定である。

会　長：施策に反映ができるアンケート調査の内容にしなければいけないので、次回の会議の前に委員の皆様に一度アンケートに答えていただき、会場に足を運んでもらえれば、ありがたい。

委　員：計画書の中の、数値目標のところで、家庭系と事業系とで記載を分けることが可能か。

事務局：次期の計画では、その辺りの数値も市民の方にわかりやすく、明確な表現になるよう努めたい。

会　長：近隣市も資源循環を含めて熱心に取り組みされているので、その辺も参照していただきたいと思う。また、京田辺市のエネルギー関係の計画や都市計画などの整合もしっかりとり、重要な時期での計画だと思うので、委員の皆さんに理解していただき、議論に参加いただけるよう、その準備をお願いしたい。

7　閉会